

ボランティア検討部会の検討状況について

1 開催日

平成29年7月6日（木）

2 検討内容

（1）区からの情報提供

- ①東京都の取組（東京ボランティアナビについて）
- ②中央区の取組（ブラジルオリンピック委員会との覚書の締結について）
- ③関係機関の取組（「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座 等）

（2）議題

- ①2020年に向けたボランティア活動等に関するアンケート結果における現状と今後の取組について（別紙参照）
- ②各団体のボランティアに関する取組について

〈主な意見〉

- ・2020年に向けては、引き続き団体相互の情報共有を積極的に図っていく必要がある。
- ・事業者等、昼間人口のボランティア活用も視野に入れていく。
- ・ボランティア検討部会として1つのプロジェクトに取り組んでいくことも効果的と考える。

2020年に向けたボランティア活動等に関するアンケート 結果における現況と今後の取組について

調査対象：ボランティア部会員

調査時期：平成29年1月

1 現在のボランティア等の取組と2020年に向けて取り組みたいこと

現在のボランティア等の取組	2020年に向けて取り組みたいこと
・中央通りの花壇の植栽及び維持管理	・世界の花の紹介プレートを花壇に設置
・子どもたちの参加するイベント等への協力	・少年リーダー養成研修会経験者も巻き込んだ取組や中高生ボランティア等の取組 ・中学校でのオリンピック関係者の講演会
・子どもたちの健全な発達に資する活動 (「一校一国運動」での国際理解やオリンピック等からの子どもへの指導)	・今後も継続実施
・晴海選手村予定地の清掃	・晴海おもてなし大作戦
・老人クラブや幼稚園でのウクレレ演奏	・区民の皆が参加し、心待ちにしている気持ちを形にしたい。 例：おもてなしの折り鶴ウェーブ
・中、高齢者の体操指導	・今後も継続実施
・観光案内所の企画運営(街の魅力の発信)	・買い物やレストランだけではなく、歴史的文化的な観光スポットの紹介 ・街を散策し、人と触れ合い、街の魅力を楽しんでもらうためのパンフレット等の作成やスタッフ教育
—	・選手村ができる晴海で、選手や地域の方々の記憶に残るような取組
・リサイクルやイベント時の清掃	・今後も継続実施
・地域の防犯安全対策 ・イベントでの警備	・イベント時のマンションへの侵入や共用施設等へのゴミの不法投棄などについて、地域・近隣で防ぐような取組の構築
—	・統一的な標識やトイレマップなどの案内について、関係団体と協力
・学校や企業等への点字出前講座	・出前体験等で、まちでの声かけの仕方も含めて障害者・高齢者理解を広めたい。
・ボランティア交流会のサポート ・地域活動見本市への協力 ・中央区健康福祉まつりへの参加	・今後も継続実施
・地球環境について考えることを目的とした普及啓発イベントの実施	・イベント来場者等から募っていた「2020年へのメッセージ」を1つにまとめ、ブレ年に五輪へのメッセージにする。

2 実現に向けた主な課題

- ・ボランティア活動を広げていくための周知が不十分であり、協力者の集め方がわからない。
- ・イベントが単発でボランティア意識の継続的な醸成が難しい。
- ・ボランティアに関わる団体・個人の横のつながりが少ない。

3 ボランティア検討部会を通じた今後の取組

- ・各団体のボランティア活動の拡充に向けた取組
- ・各団体相互の連携による団体間ネットワークの構築